

経営体の概要

- ・所在地: 神奈川県寒川町
- ・経営体名: A園芸
- ・栽培作物・作付面積: 施設トマト・22a(12a、10a)
- ・労働力: 4名(平成30年9月現在)

導入技術

- ・複合環境制御装置 ((株)三基計装)
- ・灯油式CO₂発生器 (ダイニチ工業(株))
- ・生ガス式CO₂発生器(高圧ガス工業(株))
- ・環境モニタリング装置((株)誠和、(株)セラク)
- ・複合環境制御盤のUECS化等について試験導入



パソコンやタブレットでモニタリングや温室状況の確認、設定変更が可能になった。



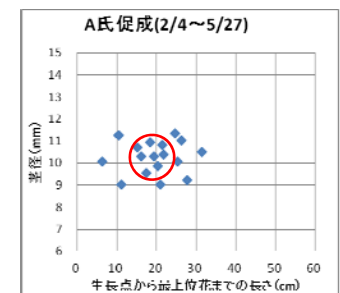
複合環境制御盤

導入経緯

- 20年前に環境制御装置を導入していたが、時期的に収量の差があり、より効果的な制御方法を模索していた。
- そこで、ハウスの環境の実態を把握するためにH23年に環境モニタリング装置を導入した。
- H28年に既存の複合環境制御装置に通信システムを付加するUECS化について試験導入。

取組の特徴・効果

- 温度や湿度、CO₂濃度、水分量、日射量などの24項目を常時パソコンやタブレット端末で常時確認している。
- リアルタイムのモニタリングデータと成育診断に基づき、換気の設定や二酸化炭素施用時間等を修正した結果、トマトの成育バランスが安定し、品質の良い果実がコンスタントに収穫できるようになった。地域のトップレベルの収量を上げている。
- また、既存の複合環境制御装置に通信機能を付加することで、パソコンやタブレットで温室状況の確認、設定変更が可能となり、作業性も向上した。



A氏の成育バランスシート